

点灯順序

- ・本品には点滅スイッチはありません。壁スイッチ等で点滅動作を行ってください。
- ・本品には常夜灯はありません。

点 灯

消 灯

使用上のご注意

- 点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがありますが、器具の故障ではありません。
- 精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
- 本体を分解したり、改造しないでください。火災などの原因になります。
- AC100V専用器具です。200Vでは使用できません。
- 直射日光の当たる箇所で使用されると、カバー等が著しく変色する場合がありますので、ご注意ください。

定 格

形 名	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	適用光源
HWDG22006(MP)	AC100V	50Hz 60Hz	8W	当社製品 W-368-2LEDユニット専用

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってしばらくしてから行ってください。

- ・点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。
- ・明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヶ月に1回程度）に清掃、点検してください。
- ・ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。外郭強度の低下、変質、変色、故障の原因になります。
- ・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- ・汚れを取るときは中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞って拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

故障？と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。
下表以外の故障と思われる時は、電源を切り、お近くの弊社製品取扱店やお客さま相談室にご相談ください。
なお連絡されるときは器具の形名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
形名は器具本体表面の器具ラベルに表示しています。

故障の状態	主 な 原 因	処 置
点 灯 し な い	○LEDユニットのコネクタが正常に接続されていない。	LEDユニットのコネクタを正常に接続する。
	○壁スイッチ等の主電源がOFFになっている。	壁スイッチ等の主電源をONにする。
	○端子台への電源線の接続が不完全である。	器具の取り付け方法4.電源線の接続を確認していただき、正しく接続してください。

株式会社ホテルクス 〒105-0014 東京都港区芝一丁目11番11号 www.hotalux.com

製品・お取り扱いなどのご相談	受付時間 平日 9:00-12:00 13:00-17:30	修理・アフターサービスのお問い合わせ	受付時間 平日 9:00-17:30
お客様相談室 ☎ 0120-52-3205 FAX. 0748-61-2330 (土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)		修理受付センター ☎ 0120-334-031 ☎ 0748-61-2361 (フリーダイヤルが利用できない場合)	(土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)

HotaluX 照明器具 LEDブラケット

取扱説明書

保証書添付

保存用

一般住宅用

防雨・防湿形

372-572 HWDG22006(MP) セツメイショ2 ②

- このたびは弊社製品をお買い上げくださりましてありがとうございます。
- 取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
- 取付工事が終わりましたら、この説明書はご使用になるお客様が保管してください。



禁止マーク
してはいけない内容です



指示マーク
必ず守る内容です

安全上の注意

お使いになるとき、人への危険や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。この「安全上の注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。



警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性がある内容です。



ポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用される場合には、末端部付近の絶縁体露出部には黒テープなどで覆い保護をしてください。感電・火災の恐れがあります。

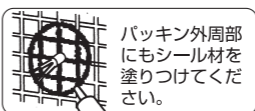
メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営材に器具を取り付ける場合は、器具の金属部と絶縁をとってください。(木ネジ、器具本体とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けてください。)守らないと、漏電した場合、火災の原因となります。

器具の取り付けは、取扱説明書により確実に取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。

器具の取り付けは、質量に耐える所で取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取り付けに不備があると落下し、感電・けがの原因となります。

電源線接続の際は、「器具の取り付け方法」に従って確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

タイル面など取り付け面に凹凸がある場合は、本体パッキンと取り付け面とのすき間を防水シールなどで埋めてください。防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。



部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。

分解禁止



お手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。

お手入れなどによりカバー、本体を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。不完全に取り付けると、落下してケガ・物損の原因となることがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

光源にはLEDを搭載しています。安全上、LED光源を直視することはおやめください。



塩害地では使用しないでください。部品の腐食や結露の原因となります。振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しないでください。器具破損の原因となります。

器具の隙間や放熱穴に、金属類やもえやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。



アース工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

アース接続



布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。

発火注意



注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性がある内容です。



壁付調光器やセンサースイッチのある回路では使用できません。照明器具が故障又は誤動作することがあります。

明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。

LEDユニット交換やお手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。

点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。LED光源及び本体周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。

LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品、同一適用量数商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

暖房器具、ガス器具等の真上やその付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。

本器具の適用光源は、当社製品「W-368-2LEDユニット」専用です。指定された適用光源のみ使用してください。指定以外の(適合しない)光源を使用すると、火災、故障などの原因となります。

照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますがご了承ください。



お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。

器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。



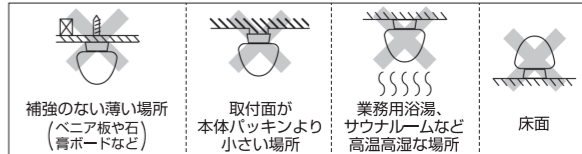
表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。天井の取付面の構造や材質により、取付面が変色等を起こす場合があります。

この器具は防雨・防湿形の器具です。一般屋内の他、屋外の軒下や湿気の高い場所でも使用できます。(屋外に取り付ける場合は、軒下等の雨線内でのご使用に限りです。)

振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しないでください。器具破損の原因となります。

風の強い場所には取り付けしないでください。落下の原因となります。

この器具は天井・壁付兼用一般住宅用防雨・防湿形の器具です。下記の場所には、取り付けしないでください。火災・感電・落下によるけがの原因となります。



引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵等)で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。

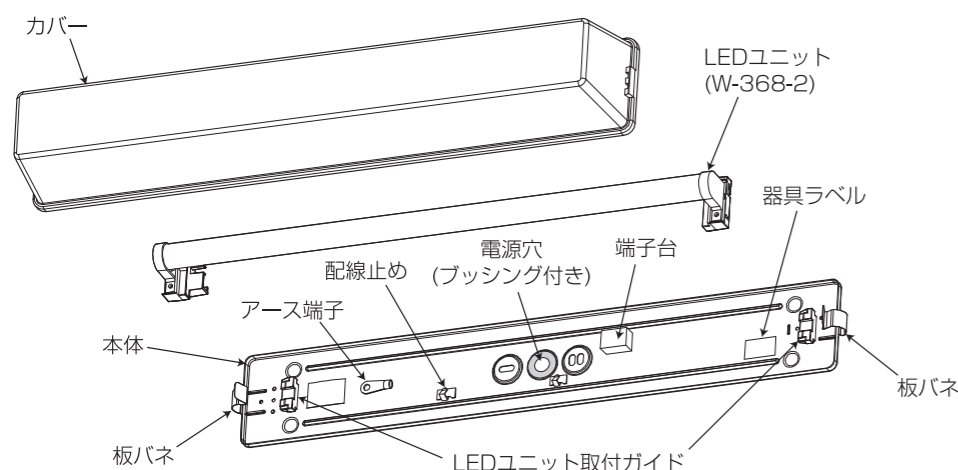
振動や衝撃のあるところでの使用はしないでください。落下の原因となることがあります。

酸などの腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。漏電、落下や故障の原因となることがあります。

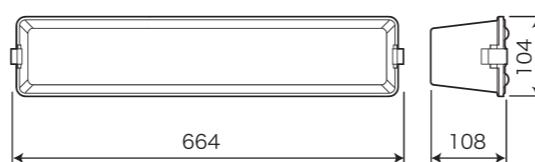
粉塵の多いところでは使用しないでください。器具の過熱や故障の原因となることがあります。

各部の名称

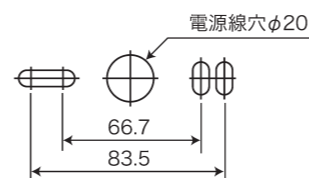
この図は一部省略抽象化した共通部品図です。機種によって形状が異なります。



■器具寸法(mm)



■取付寸法(mm)



付属品

付属品は器具の中に入っています。

取付用木ネジ (樹脂ワッシャ付き) (2本)

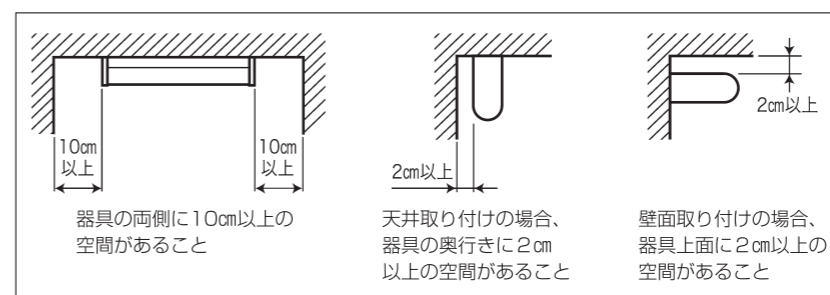


樹脂ワッシャは必ず木ネジに取り付けたまご使用ください

器具取り付け時の注意事項

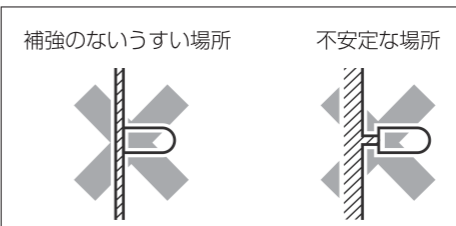
■この器具は、天井面及び壁面取り付け兼用の器具です。

下図のことに注意し、十分に強度のある場所に取り付けてください。



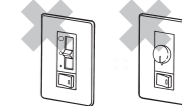
■取り付け出来ない場所

右図のような場所では取り付けはできません。
火災・感電・落下によるけがの原因となります。



！注意

本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器やセンサースイッチが接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。接続されている場合は必ず調光器やセンサースイッチを取り除いてください。(交換工事は電気工事に依頼してください。)



調光器付壁スイッチ (代表例)

電源OFF時に表示が点灯するタイプの壁スイッチ(ホタルスイッチ等)を使用する場合、器具1台につき壁スイッチは1個までとしてください。壁スイッチを2個以上使用される場合は、ホタルスイッチ等の表示が点灯するタイプ以外の壁スイッチをご使用ください。

表示が点灯するタイプの壁スイッチを使用すると、電源OFF直後にLED光源がちらつく場合がございますが、故障ではありません。

器具の取り付け方法

器具の取り付け(取り外し)を行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行ってください。

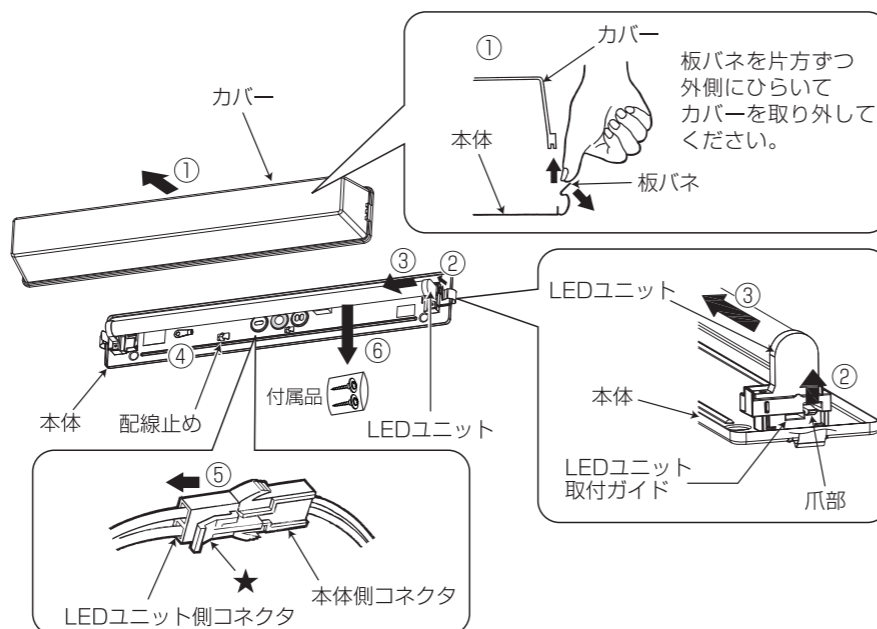
器具の取り付け(取り外し)の電源工事は電気工士の資格が必要です。電源工事は、必ず電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

1. 取り付け場所の確認

この器具は天井面及び壁面取付兼用の器具です。「器具取り付け時の注意事項」を参照のうえ、取付場所の確認を行ってください。

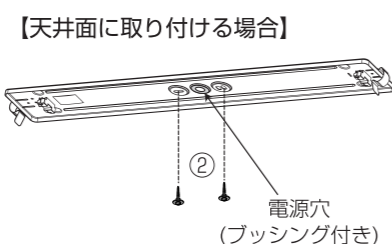
2. LEDユニット、付属品の取り外し

- ①カバーを取り外してください。
- ②LEDユニットの爪部(右図)を引き上げながら、
- ③LEDユニットを矢印方向(左)にスライドさせて取り外してください。
- ④配線止めからLEDユニットの線を外してください。
- ⑤コネクタの★部を押しながら、矢印方向へスライドさせて、取り外してください。
- ⑥本体に貼り付けてある付属品を取り外してください。

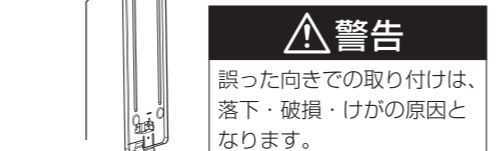
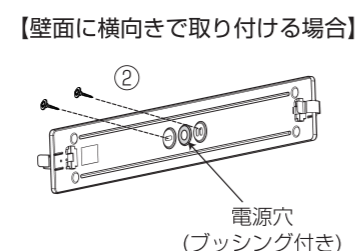


3. 本体の取り付け

- ①本体中央の電源穴(プッシング付き)に電源線を通してから、
 - ②付属の木ネジ(樹脂ワッシャ付き)(2本)を使用して器具本体を取り付けてください。
- ※電源穴のプッシングは取り外さないでください。



【壁面に縦向きで取り付ける場合】



重要ポイント



樹脂ワッシャ

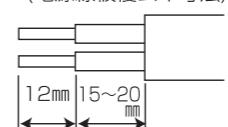
樹脂ワッシャは必ず木ネジに取り付けたまご使用ください。

必ず2ヶ所でネジ止めしてください。取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

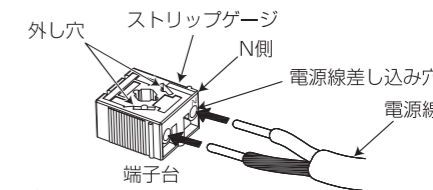
4. 電源線の接続

電源線の被覆を右図のようにはがし、端子台の電源線差し込み穴に確実に差し込んでください。

(電源線被覆ムキ寸法)



(適合電線は単線のφ1.6とφ2.0です。)



電源線を外す場合

必ず電源を切ってからマイナスドライバー等を外し穴に差し込み電源線を引き抜いてください。



感電・火災のおそれあり。
・電源線の取り付け・取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。



差し込んだあとは、必ず電源線を引っぱって抜けないことを確認してください。

アース線の取り付けは、本体にあるアース端子を利用して、電気設備の技術基準にしたがって確実に行ってください。

5. LEDユニット、カバーの取り付け

- ①LEDユニットのコネクタと本体のコネクタを確実に接続する。
- ②LEDユニットの線およびアース線を下図位置の配線止めに引っ掛けて固定してください。
- ③本体の矢印ラベルとLEDユニットの矢印ラベルを合わせ、
- ④LEDユニットを矢印方向(右)に「カチッ」と音がするまでスライドさせて取り付けてください。
- ⑤左側のLEDユニットとLEDユニット取付ガイドが確実に取り付けられていることを確認する。
- ⑥本体にカバーを確実に取り付けてください。(カバーと本体の間で配線が挟まれないようにしてください。)

